最近の雇用情勢について

(令和6年6月)

青森労働局

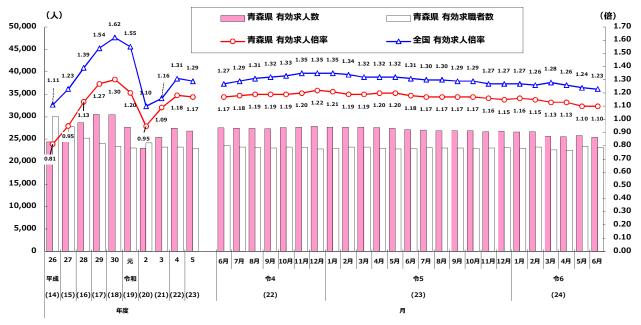
Ⅰ 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

職業安定部

6月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ1.4%(371人)減少の25,408人、 有効求職者数(同)は前月に比べ1.1%(258人)減少の23,158人で、有効求人倍率(同)は1.10倍となり前月と 同じであった。

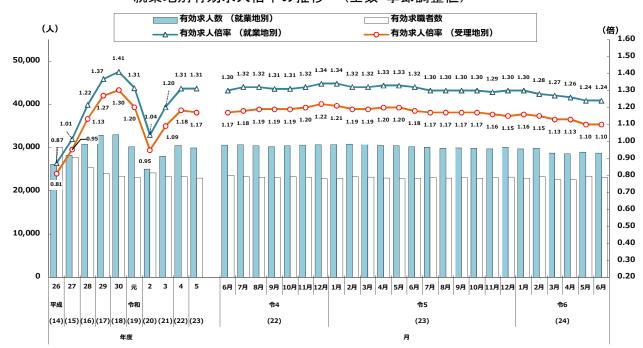
就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は1.24倍で前月と同じで、受理地別の倍率を0.14ポイント上回った。

受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



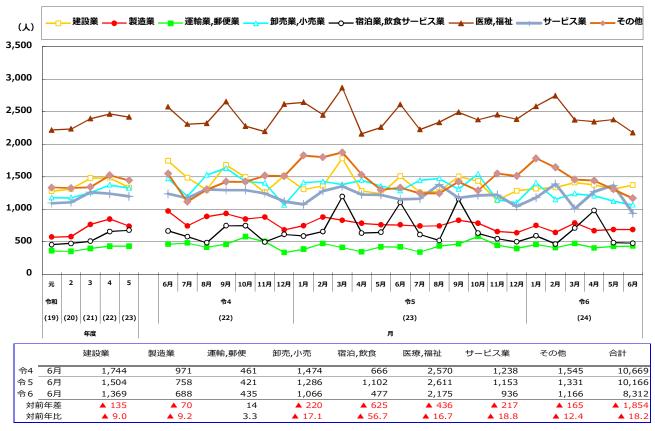
全国のハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。 就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注)季節調整法はセンサス局法 II (X-12-ARIMA)よる。なお、令和5年12月以前の数値は、令和6年1月分公表時に新季節指数により改定されている。

Ⅱ 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

6月の新規求人数 (原数値) は前年同月比18.2% (1,854人) 減少の8,312人。

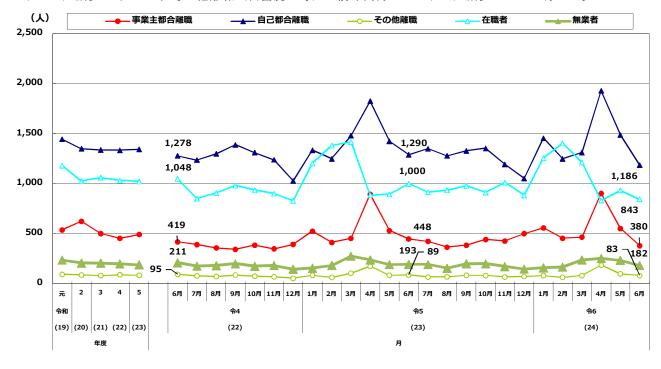
主要な産業の新規求人数(原数値)をみると、前年同月との比較で建設業、製造業、卸売業,小売業、宿泊業,飲食サービス業、医療,福祉、サービス業で減少し、運輸業,郵便業で増加した。なお製造業のうち、パルプ・紙・紙加工品製造業、金属製品製造業、業務用機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等で増加し、繊維工業、印刷・同関連業、窯業・土石製品製造業、はん用・生産用機械器具製造業、電気機械器具製造業等で減少した。



Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

6月の新規求職者数(パートを除く常用・原数値)は、前年同月比11.5%(346人)減少の2,674人。 区分ごとに前年同月と比較すると、在職者は15.7%(157人)減少の843人、離職者は9.7%(178人)減少の1,649人、無業者は5.7%(11人)減少の182人であった。

離職理由別では、事業主都合離職は前年同月15.2%(68人)減少の380人、自己都合離職は前年同月8.1%(104人)減少の1,186人、その他離職(自営廃止等)は前年同月6.7%(6人)減少の83人であった。



Ⅳ 安定所別有効求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

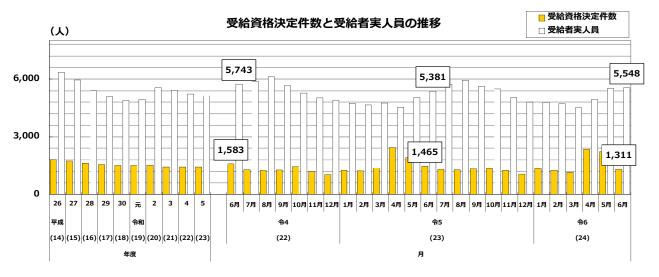
6月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.05倍となり、前年同月より0.08ポイント低下した。 各安定所の有効求人倍率は次のとおり。



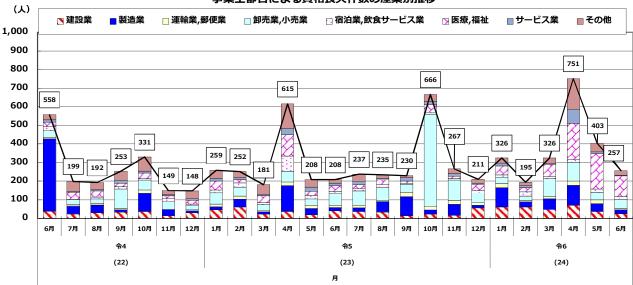
V 雇用保険の状況

6月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比3.1%(167人)増加、前月比では0.7%(36人)増加の5,548人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比10.5%(154件)減少、前月比では40.8%(905件)減少の1,311件となった。※受給資格決定件数は速報値であり、修正の可能性があり得る。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合は、前年同月比23.6%(49人)増加、前月比36.2%(146人)減少の257人となった。



事業主都合による資格喪失件数の産業別推移



3